

もち²×スマ もちもちの木smile

TOPICS

- ✓ 令和元年度第18期通常総会・交流会実施
- ✓ 西本川のむかしむかし～まちの史跡と神社ものがたり
土橋町町内会として参加
- ✓ もちもちスタッフーそれぞれの働き方
文化活動支援員 澤 雅展さん

令和元年度第18期通常総会・交流会実施

さる令和元年5月25日（土）、広島市文化交流会館にて第18期通常総会・交流会を開催いたしました。

今年も職員数を上回る地域活動団体の皆さま、当法人を応援してくださる関係者の皆さまに多数ご参加いただき、大盛況のうちに終わることができました。誠にありがとうございました。



ごあいさつ

まぶしい陽射しをさえぎる木立の陰を渡りながらの出勤姿が目に留まる季節となりました。今年も強い日差しそして熱中症には気をつけたいものです。



理事長 竹中庸子

平成17年から始まった厚生労働省の認知症サポーター養成講座は今年で15年になりました。当初この養成講座ではサポーター100万人を目標としていましたが、平成30年3月には1000万人を超え、今では「認知症」は誰もが知っている言葉となりました。

私も平成20年から広島市の認知症アドバイザーとして毎年約1,000名の方に講演を続け、認知症の方の理解について地域住民とともに学んできました。

本年から新規事業としてスタートした「もちもちの木 実と根っこ相談室」では、地域から創る新しい介護のカたちを仲間と一緒に学習しながら実践する、受け身ではなく結果の出る主体的な講座を提供します。もちもちの木が18年かけて作り上げてきたコミュニティアメソッドを惜しむことなく発信しますので、思い切り共有していただきたいと思います。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

災害支援活動 坂町平成ヶ浜
仮設住宅集会所「元気カフェ」継続中

もちもちの木では、西日本豪雨災害発生直後から支援活動を続けており、昨年12月からは支援金を活用して避難所でカフェを運営。健康相談・マッサージ等のコミュニケーションによるケアで被災者の皆様に支援しています。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

子ども110番の店に登録（土橋のおうち）

次世代育成支援の一環として、地域の子どもたちにとって安心・安全なまちづくりに取り組みます。

実と根っこ相談室開設（庚午のおうち）

庚午のおうち201号を活用し、下記についてご相談を承っています。お気軽にお問い合わせください。

- ①地域とケアをつなぐ次世代ケアリーダーの養成
- ②介護離職防止支援のための企業介護相談事業
（介護と仕事の両立支援）
- ③ココロの栄養当事者研究
（自主グループ活動・個別ピアカウンセリング）
- ④認知症予防事業
地域型認知症フレンドプログラムの開発と実施

もちもちの木各事業所のwebサイトはこちら！

法人サイト ▶ <http://mochi2.wpblog.jp/>
庚午のおうち ▶ <http://kougomc2.wpblog.jp/>

庚午のおうち シェアハウス入居者募集中！

もちもちの木 働き方改革



古田のおうち管理者 菊地さんにも伺いました！

もちもちの木には多様な働き方があります。パート、正職員、短時間正職員、嘱託職員という雇用形態のほか、育児や介護、地域活動や芸術活動との両立など。

今回は、もちもちの木独自の職種となる地域活動支援員として活動されているスタッフをご紹介します。

デイサービス古田のおうちで短時間正職員として働く文化活動支援員の澤雅展さん。京都を拠点に全国活動をしている劇団「烏丸ストロークロック」の役者としても活躍しています。



文化活動支援員 澤雅展さん

劇団の広島公演の際に、演劇関係者から「もちもちの木で『文化活動支援員』という職種の求人がある」と聞き、自身の経験を生かせる上に演劇も続けられ、自分のライフワークを崩すことなく働ける、ということで法人への就職を希望したといっています。

普段の仕事内容は、利用者さんの話し相手や遊び相手などのレクリエーションがメイン。介護の仕事とは違った角度からのコミュニケーションで利用者さんの楽しみを引き出す役割をしています。

かねてから劇団の企画運営などを行ってきた澤さんは、ある認知症の利用者さんが語り部として活動していたことを聞き、その経験を生かしてもらおうと「戦争証言の会」を企画しました。利用者さんと何度も事前にやり取りを重ねて、話し方の癖や語り口を理解し構成を組んだといっています。

同会は、ケアマネや医療関係者など近い人たちを招いて開催され大変好評でした。しかし、当日に緊張しすぎてガチガチになっていた利用者さんを見て、「改善の必要があると感じた。今後は利用者さんにとって負担の少ない座談会のような形式で、リラックスした状態で話せるような会を企画したい」と話します。

今後の支援員としての活動企画では、古田のおうちで開催されている地域活動（の方々）とデイサービスの利用者がもっと交わるような機会をつくっていききたい、という澤さん。「そうするとことで地域の人にも、もっと認知症のことを理解してもらえる。世の中にはまだまだ認知症に対する誤解があると思う。『認知症』というのがごく自然なこと（普通のこと）だと周知していききたい」と語る澤さんの今後の活動が注目されます。

文化活動支援員について「先に土橋のおうちに配置されていることは知っていたものの、介護現場でどのような影響があるのか分からず非常に興味があった」と話す管理者の菊地さん。「おそらく他の広島の介護施設には無い事例で、介護を担当しないスタッフとどのように仕事をすすめるのか予想がつかなかった」と採用当時の心境を語ります。

約1年間、一緒に働いてみての感想は、「現在は支援員無しでは考えられない」とのこと。その理由として、利用者さんが心地よく楽しく過ごせているか、不満がないか、一人一人と細やかなコミュニケーションをとりたいと思っても、通常のケアで手一杯なのが介護スタッフの現状。そんな中で、利用者さんのデイサービスでの楽しみを生み出してくれる澤さんの存在は、とても貴重だといっています。

文化活動支援員のおかげでスタッフは、介護に専念しスムーズにケアができるのだそうです。「介護スタッフと利用者さんとのコミュニケーションをサポートしてくれる、介護事業所に配置の必要な人員だ」と、その効果を感じています。

もちもちの木ではスタッフひとりひとりに合った働き方を提供しています。詳しくは、もちもちの木総務まで。

西本川のむかしむかし まちの史跡と神社ものがたり



去る6月15日（土）、土橋のおうちに「土橋町浜恵美須神社と常夜灯のおはなし」を開催致しました。

土橋町は、浜恵美須神社脇の雁木に各地から商品が陸揚げされ、広島城下の商業で重要な役割を担っていました。秋祭りを継続し同神社を大切に守り続け、3年前からは「亥の子まつり」を復活させ、町の子どもの笑い声も響くようになりました。

戦後74年、原爆投下もあり、広島市の商業の中心であった西本川界隈のものがたりを多くを失っているいま、私たちの身近な広島城下のものがたりを集めて僅かでも先人の思いや願いを世代を超えて地域で受け継ぎ伝えていきたいと思っています。

会の進行役は、プラタモリでユニークな案内役をされた広島市郷土資料館学芸員の本田美和子さん。

ご参加いただいたみなさまにも大変ご満足いただき大盛會にて終えることができました。



特定非営利活動法人

もちもちの木

～優しい心～ 迷ったり 探さぬよう そばにいるよ

【本部】 土橋のおうち 中区土橋町5-35

TEL : 082 (294) 9346 FAX : 082 (294) 9328

MAIL : mochimochi.npo@gmail.com WEB : <http://mochi2.wpblog.jp/>

◎ 古田のおうち 西区古江新町8-32 TEL : 082 (272) 2701

◎ 庚午のおうち 西区庚午中一丁目9-11※お問い合わせは土橋のおうち

